

愛知県知事 大村秀章 様

緊急に医療・福祉施設などでの社会的検査を増やすことを求める要請書

2021年1月13日

日本共産党愛知県委員会

委員長 岩中正巳

感染拡大防止に全力をあげる職員の皆様に心から敬意を申し上げます。

県内の一日の陽性者数は400人を超える日が出るなど急増しています。名古屋市内の医療機関のコロナ病床はほぼ満床となり、県内のコロナ病床の使用率も1月4日には7割に達しました。

政府の新型コロナウイルス対策の分科会の報告ではクラスターの45%が医療機関、福祉施設で起きており、名古屋市内の医療・福祉施設のクラスターも急増しています。医療・福祉施設での職員も含めた社会的検査を抜本的に増やすことなしには感染拡大を防ぐことはできません。緊急に躊躇なく社会的検査を進めるために以下、要請します。

- 一、緊急事態宣言の発令について、科学的かつ具体的根拠にもとづく説明をおこなうよう国に求めること。
- 一、市町村と連携を強め、医療・福祉施設などの職員と入院患者、入所者に対する一斉・定期的な社会的検査を躊躇なく直ちに実施すること。行政検査に係る自治体の負担をなくすために全額国庫負担とするよう国に求めること。
- 一、社会的検査については、検体採取、検査、報告を保健所の業務とせず、一括して実施できるよう、民間検査機関の協力を得ること。
- 一、緊急事態宣言が出された場合、休業要請に協力した店舗、事業者にかぎらず、影響のあるすべての店舗、事業者（農林水産関係含む）に十分な補償をおこなうこと。
- 一、持続化給付金、家賃支援給付金など支援策の継続を国に求めるとともに、愛知県独自の支援策をつくること。

以上